

- 1 会議名 総務・産業建設常任委員会協議会
- 2 日時 令和元年7月26日(金)
午前10時～午前10時24分
- 3 場所 正副議長応接室
- 4 出席委員 (委員長)堀巖(副委員長)鬼頭博和
(委員)片岡健一郎、水野忠三、伊藤隆信、木村冬樹
- 5 説明員 なし
- 6 事務局出席 議会事務局長 隅田昌輝、同主任 高山智史
- 7 委員長挨拶
- 8 協議事項

(1) 行政視察について

堀委員長：それぞれの視察先を選考した委員より説明をお願いしたい。1日目は岩倉市から宇都宮経由で鹿沼市へ行く。全体の日程としては、10月15日の午後に栃木県鹿沼市にて消防団充実強化ビジョンについて、16日の午前中に常総市にて関東東北豪雨災害について、同日午後に木更津市にて有機農業の推進について、17日の午前中に春日部市にて官学連携団地活性化推進事業について視察する予定として進めている。資料の準備が済むまでの間に鬼頭副委員長より常総市の視察について説明をお願いする。

鬼頭副委員長：配布資料に項目を上げさせていただいた。関東東北豪雨災害についてだが、この常総市は鬼怒川の氾濫により市役所を含めて市域のほとんどが水没した。その際の状況について聞きたいと思っている。報告書がホームページに掲載されているので、目を通してから視察に臨んでほしいとのこと。報告書の大本は100ページ超のものだが、概要版もあるので各自目を通してほしい。項目としては、避難所の開設や運営について、地域防災計画が機能しなかったことについて、被災後の危機管理対策について、防災訓練のやり方について。被災後にいろいろと改善していると思うので、そういったところを見ていきたい。

堀委員長：続けて春日部市もお願いしたい。

鬼頭副委員長：春日部市は、16日に行きたかったが受け入れ不可ということだったため17日に視察することとなった。逆に木更津市は16日でないと難しいとのことだったのでこのような行程になっている。春日部市には「未来研究所」というものがあり、春日部市のシンクタンクとなっているようであるため視察項目に挙げた。この他に官学連携の団地活性化推進事業などについて視察したいと考えている。

木村委員：岩倉市の現状として消防団員の確保が難しくなっている。関東では消

防団員確保のためにいろいろな取組がなされており、調べたところ鹿沼市の取組が一番良いと感じた。消防団充実強化のための検討委員会を庁内に設置し、ビジョンを策定している。ビジョンの内容としては、消防団員というのは身近な防災リーダーであり、大規模災害時などで市の職員と共に対応する、地域のコミュニティの中核になるという役割を担っていると位置付けている。確保対策、PR活動、消防団サポート店事業など、組織を再編して女性分団のようなものもつくっている。今、岩倉市にも3名の女性消防団員がいるが、もう少し増やして女性ならではの活動に取り組まれているところもあるので、そうしたところも検討してはどうか。市の面積が広大であるので岩倉市との違いもあると思うが、内容は一見する価値があると思う。

堀委員長：木更津市について、最初は千葉県いすみ市に行きたかったが、断られた。いすみ市は、学校給食の米飯を100%有機米で賄うという取組がなされているということで中日新聞に取り上げられていた。近くの木更津市でもいすみ市を参考に似た取組をしているということを新聞で目にしたため問い合わせたところ、今は5%ほどを有機米にしているということだった。また、オーガニックなまちづくり条例という条例を制定していることや非常に総合戦略の中でも有機農業についての取組がひとつの柱として位置づけられていることが分かった。具体的な事業について(1)から(3)までを上げさせていただいたが、(3)の「KURKKU FIELDS/クルックフィールズ」という施設に関係している Mr.Children をプロデュースした有名な方がこの施設の設計等にも携わっているが市としてどのようにかかわっているのかというところを見ていきたい。また、木更津市の知り合いの議員に連絡したところ、逆に岩倉市の事を勉強したいとの申し入れもあった。

なお、水野委員から会津若松市を視察してはどうかという提案があったが、他の視察先から距離が離れているため断念することとなった。

議会事務局長：行程表の案を作成したのでご一読いただきたい。

堀委員長：若干、ホテル着が遅い日もあるが、ギリギリ行けるのではないかと思う。

片岡委員：こういった視察時の移動はだいたいレンタカーは使わず、電車での移動となるのか。

堀委員長：過去にレンタカーを使ったこともあったが、基本的には公共交通機関を利用する。予算としては一人当たり9万円だったかと思うが、いくらぐらいかかるのか。

議会事務局長：現時点では詳細な積み上げをしていない。

木村委員：日当が出ているので、それを食費に充てている。

片岡委員：岩倉市の消防団は結構厳しい状況か。

木村委員：行政区によって、若い人がいるところと高齢化が進んでいるところがあるなどばらつきはあるが、なり手不足である。市内に住む市の職員も半強制的に参加している。

水野委員：消防団員に外国の方がなることはできないのか。

木村委員：法律の国籍要件により認められていない。

議会事務局長：あまり消防団内の職員の比率が高くなると防災上の問題も出てくる。災害時に市の職員として対応することが難しくなる。

木村委員：議員もやるべきでないと思う。

片岡委員：議員が消防団員になることは可能か。

木村委員：可能だが、過去に消防団長が議員になった際は団長の座を降りたことがある。

堀委員長：スケジュール（案）に沿って流れを確認。この行程で進めてよいか。
（良いと発言するものあり）

堀委員長：この行程で進めていく。行政視察について他にあるか。
（意見なし）

堀委員長：他に何かあればLINEで意見交換や当日の連絡をしていく。

（２）その他

堀委員長：その他として他に何かあるか。

鬼頭副委員長：次回は9月定例会の委員会終了後に最終確認のための協議会を開催。別途開催の必要があれば連絡を。

堀委員長：各自、ホームページより各市の取組を確認しておくこと。